

薬理学 2

責任者・コーディネーター	分子細胞薬理学講座 弘瀬 雅教 教授		
担当講座・学科(分野)	分子細胞薬理学講座、細胞病態生物学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

本講義では、化学物理系、生化学、分子生物学、微生物学機能形態学等の薬学部関連授業科目において修得した知識と薬理学1で得られた知識を基礎とし、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症や動脈硬化に伴う循環系疾患などの、いわゆる生活習慣病や代謝症候群（メタボリックシンドローム）に対して使用される薬物を主題に、薬理作用や有害反応について学ぶ。加えて、他の循環器系薬物と血液・凝固系に作用する薬物の薬理作用、臨床応用、副作用についても学ぶ。

・一般目標（GIO）

1. 循環器系、代謝系、血液・造血器系、内分泌・生殖器系に作用する薬物に関する基本的知識を修得し、その薬理作用、薬理機序および主な副作用について説明できる。
2. 個々の患者に応じた投与計画を立案できるようになるために、薬物治療の個別化に関する基本的知識に薬理学がどのように資するかについて基本的知識を修得し、それらについて説明できる。

・到達目標（SBO）

1. 代表的な不整脈治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
2. 代表的な狭心症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
3. 代表的な心不全治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
4. 代表的な高血圧症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
5. 代表的な糖尿病治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
6. 代表的な脂質異常症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
7. 代表的な骨粗鬆症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
8. 代表的な高尿酸血症治療薬を挙げ、作用機序と主な副作用について説明できる。
9. 代表的な血液・凝固系疾患治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。
10. 代表的な内分泌・生殖器系疾患治療薬を挙げ、作用機序および主な副作用について説明できる。

・講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/10	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	循環器系に作用する薬物 その1 不整脈治療薬の薬理

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/17	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	循環器系に作用する薬物 その2 狭心症治療薬の薬理
9/24	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	循環器系に作用する薬物 その3 心不全治療薬の薬理
10/1	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	循環器系に作用する薬物 その4 高血圧治療薬の薬理
10/8	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	代謝系に作用する薬物 その1 脂質異常症治療薬の薬理
10/15	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	代謝系に作用する薬物 その2 高尿酸血症治療薬の薬理
10/22	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	代謝系に作用する薬物 その3 骨粗鬆症治療薬の薬理
10/29	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	代謝系に作用する薬物 その4 糖尿病治療薬の薬理
11/19	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	内分泌・生殖器系に作用する薬物 その1 内分泌疾患治療薬の薬理
11/26	水	1	分子細胞薬理学講座	弘瀬 雅教 教授	内分泌・生殖器系に作用する薬物 その2 生殖器系疾患治療薬の薬理
12/3	水	1	細胞病態生物学講座	奈良場 博昭 准教授	血液・凝固系に作用する薬物 その1 血液疾患治療薬の薬理
12/9	火	1	細胞病態生物学講座	奈良場 博昭 准教授	血液・凝固系に作用する薬物 その2 抗血小板薬・抗凝固薬の薬理

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	NEW 薬理学 改訂6版	田中 千賀子/加藤 隆一 編	南江堂 (定価 8,800 円)	2011
参	標準生理学 第7版	福田康一郎 他	医学書院 (定価 12,000 円)	2009
参	薬理書：薬物治療の基礎と臨床（上）12版	グッドマン、ギルマン著、翻訳者：高折 修二他	廣川書店 (定価 19,500 円)	2013
参	薬理書：薬物治療の基礎と臨床（下）12版	グッドマン、ギルマン著、翻訳者：高折 修二他	廣川書店 (定価 19,500 円)	2013

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	人体の構造と機能からみた病態生理 ビジュアルマップ 1-5	編集：佐藤千史/井上智子	医学書院 (定価各 3,000 円)	2010

・成績評価方法

定期試験、演習、レポート等を総合的に評価する。

・予習復習のポイント

配布されたプリントを利用して何を学ぶかを予習する。復習は、自分なりの方法でより良い理解のためのノートを作成する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	MAC コンピュータ・プロジェクター	1	講義スライドの映写